

平成27年6月9日に総務文教委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

新・そうじゃ総合計画(第2次総合計画)及び総合戦略について

～内容～

新・そうじゃ総合計画（第2次総合計画）について、当局から説明があり、調査を行いました。

～質疑～

問：他の計画との整合性は、どのように考えているのか。

答：総合計画が、上位計画である。本年度に見直しをする都市計画マスタープラン、教育振興基本計画については歩調を合わせながら策定していく。

問：基本理念について、弱者支援、人口増対策、住民力の向上とあるが、なぜこの3つだったのか。

答：弱者支援については、障がい者千人雇用、雪舟くん等の弱い困っている方を助け支え合うというところで、一本の中心の柱として捉えた。人口増対策については、放っておけば必ず減少するというような状況から、対策が必要と考えた。住民力の向上は、本市流として、自由枠交付金があり、大きな柱とした。

問：広域行政を重点的に入れてはどうか。

答：連携、広域的なものは重要視している。高梁川流域連携、岡山中枢都市連携等を柱として入れていきたい。